



インド国旗を模した看板が目印

アイキッチン
西武柳沢駅 徒歩1分

新・赤すようすん
私のおすめはマトンカレーで、少しクセのある味が、インドカレーの醍醐味です。ゴロゴロと大きいお肉が入っているのも嬉しいポイント。カレーの辛さは自由に選べて、普通にすると優しい味なので辛いのが好きな方は辛口以上をおすすめします。

【西東京・書記・新井絵梨 奈通信員】西武柳沢駅すぐにあるインドカレー屋さん「アイキッチン」。店内は薄暗いので初めての方は入りづらいかもしれません。入ってみるといつも賑わっていて、人気のお店です。

なんととってもランチが手頃な値段で楽しめます。680円のAセットランチは、サラダとチンが付いて、カレーはチキン、マトン、キーマ、野菜、ほうれん草、卵、豆、日替わりの8種類から選べて毎回いろんな味が楽しめます。



私が2種類楽しめるCセットを注文します。店員さんも皆さん本場の人ですが、日本語も上手で、接客もばっちりです。

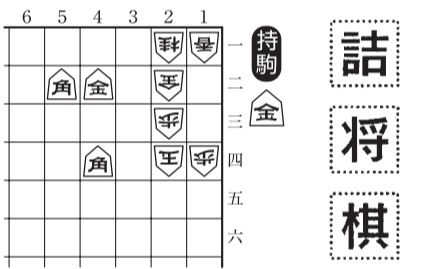
カレー以外のサイドメニューも充実しているので、夜飲みに来るのも楽しいかもしれません。サラダ、ドリンク、デザート以外ならテイクアウトもしているそうなので、入りづらいという方はテイクアウトから挑戦してみてもいいかと思います。

《メニュー》

チキンカレー	750円
マトンカレー	780円
タンドリーチキン	400円
シークカバブ	400円
サモサ	300円
マトンチョイラ	580円

営業時間 11~15時、17~23時(定休日なし)
西東京市保谷町3-10-12
☎042-465-7377

本場カレーを安価で楽しむ クセある味が醍醐味



詰将棋

チヨット一服(99)
日本維新の会を除名させられた丸山穂高衆議院議員をめぐって、野党6党派は議員辞職勧告決議案を出した。丸山議員は自身のツイッターで辞職勧告に対して「言論の自由が危ぶまれる」「可決されようがされまいが、任期を全うすると書いています。」と答えている。

あなたが言論の自由を言うのか」と言いたくなる。戦争を煽る発言の際には飲酒していたそうだが、アルコールの勢いで出たにせよ、平和憲法を真っ向から否定する発言をあらさまにしたことが批判されているのに、これを重く受け止められないこと自体、議員の資格としていかなものなのだろう。



瓦屋根 森和夫

忘れえぬこと

かつての名は爪喰
改名で感じた親の優しさ

私は、昭和33年生まれの61歳です。誕生してから20歳まで爪喰(つめくい)という名字だったのです。

今は「き両親が、子どもたちが将来名前でも良くない影響を受けるのではと、心配して改名したと聞いています。

私は、その時なぜだろうと変えたのか分かりませんでしたが、後で聞いて親の優しさを感じました。

確かに、人前で自分の名前を言ったり聞いたりのときには、いやな思いを感じていました。小学生の頃には、いやがらせを受けていたことを思い出します。今で言うイジメですかね。私体も小さかったのでイジメやすかったのだでしょう(今でも小さいです)。しかし私は、負けませんでした。我慢しきれず相手

に頭突き(ヘッドバット)を一発お見舞いしたのです。その後はイジメもなくなりました。この名前は、やはり子どもたちにとってはイジメの対象になってしまつと、親なら皆思うことなのでしょう。

私の親の時代に改名されていて良かったと思う反面、この爪喰という名字は珍しく、今まで生きてきて聞いたことがないのです。日本全国で一軒しかない名字なのではと思うと、変えないのもありだったかな。

この名字を知っている方がいらしたら、教えてほしいものです。

私は北海道出身なのですが、父から聞いているのは、先祖は岩手県から来たと聞いています。もし、岩手県に爪喰に由来するものがあるのなら、知りたいと思っています。(足立)

業式で演説を行っていたのは大富豪のロバート・スミス。彼はスピーチが終わる頃、「卒業生396人の学生ローンは自分が全額返済する」との宣言をした。アメリカでは学生ローン

の返済に苦しむ若者が社会問題化している。このサブライズに必要な金額は総額4000万ドル(約44億円)とのこと。会場の卒業生から大きな歓声が上がったことは言うまでもない。

先月19日、米アトランタにあるモアハウス大学の卒

太っ腹

ほん
本

故、米軍基地、民主主義の不安の要素は、「原発事故、米軍基地、民主主義の不安の要素は、」原発事故、米軍基地、民主主義の不安の要素は、

ランシスコ講和会議で「賠償金をとるのがこの会議の集まりではない。『憎しみではなく愛を』と主張してくれたスリランカ。こうしたアジアの小国の歴史に、今の日本が学ぶべきことがたくさんある。

(新日本出版社・1728円税込)

凍としたアジア 伊藤 千尋

今、近隣の小国に学ぶべきこと

国民を忘れた大統領を権力の座から引きずり下ろした韓国。超大国の軍事侵攻に果敢に抵抗し、祖国の解放、人間の解放を求めたベトナム。国民の手で原発の廃炉と米軍基地を排除したフィリピン。そして、かつて敗戦国日本の処遇を決めるサンフランシスコ講和会議で「賠償金をとるのがこの会議の集まりではない。『憎しみではなく愛を』と主張してくれたスリランカ。こうしたアジアの小国の歴史に、今の日本が学ぶべきことがたくさんある。

空洞化、少子化そして何よりも国民ひとり一人が自分の生き方の目標を持たなくなったことにあるという。ではどうすればいいのか。日本がいま抱えている問題を、かつて歴史的に被害を与えた近隣アジアの韓国・ベトナム・フィリピン・スリランカの事例を紹介しながら問いかけます。

国民を忘れた大統領を権力の座から引きずり下ろした韓国。超大国の軍事侵攻に果敢に抵抗し、祖国の解放、人間の解放を求めたベトナム。国民の手で原発の廃炉と米軍基地を排除したフィリピン。そして、かつて敗戦国日本の処遇を決めるサンフランシスコ講和会議で「賠償金をとるのがこの会議の集まりではない。『憎しみではなく愛を』と主張してくれたスリランカ。こうしたアジアの小国の歴史に、今の日本が学ぶべきことがたくさんある。

